

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第3部門第3区分
 【発行日】平成18年1月5日(2006.1.5)

【公表番号】特表2004-502025(P2004-502025A)

【公表日】平成16年1月22日(2004.1.22)

【年通号数】公開・登録公報2004-003

【出願番号】特願2002-506748(P2002-506748)

【国際特許分類】

C 0 8 B 37/00 (2006.01)

【F I】

C 0 8 B 37/00 Z

【手続補正書】

【提出日】平成17年8月30日(2005.8.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】単離された化合物であって、該化合物は、以下の式：

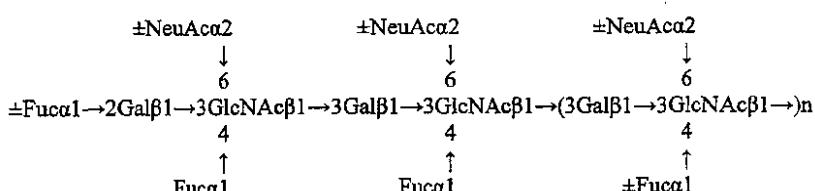
G a l 1 1 3 G l c N A c 1 1 3 G a l 1 1 3 G l c N A c 1 (3 G a l 1 1 3 G l c N A c 1) n 3 G a l 1 1 4 G l c

を有し、ここで、nは0または1以上の整数であり、そして少なくとも2つのフコシル残基が存在し、G a l 1は、ガラクトースを表し、G l c N A cは、N-アセチルグルコサミンを表し、そしてG l cは、グルコースを表し、そしてここで、該少なくとも2つのフコシル残基は、1 4連結を介して該G l c N A c残基に連結され、かつ/または1 2連結を介して該末端G a l 1残基に連結され、そして1以上のN-アセチルノイラミン酸(シアル酸)シアリル残基をさらに含み、該N-アセチルノイラミン酸(シアル酸)シアリル残基は、2 3連結を介して末端G a l 1残基に連結され、かつ/または2 6連結を介して1つ以上の末端近傍G l c N A c残基に連結される、単離された化合物。

【請求項2】少なくとも2つのシアリル残基が存在する、請求項1に記載の単離された化合物。

【請求項3】以下の式：

【化1】

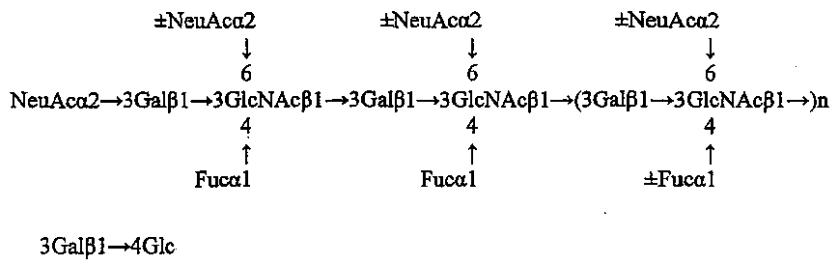


3 G a l 1 1 4 G l c

を有する、請求項1に記載の単離された化合物であって、ここでF u cは、フコースを表し、そしてN e u A cは、N-アセチルノイラミン酸を表す、単離された化合物。

【請求項4】以下の式：

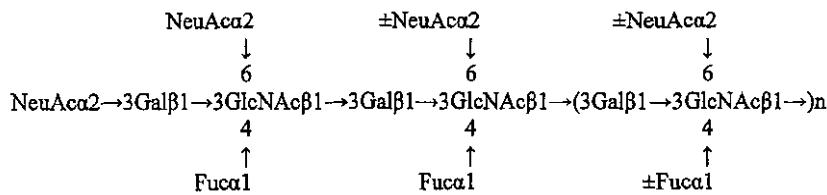
【化2】



を有する、請求項 1 に記載の単離された化合物であって、
ここで F u c は、フコースを表し、そして N e u A c は、N - アセチルノイラミン酸を表す、単離された化合物。

【請求項 5】 以下の式：

【化 3】

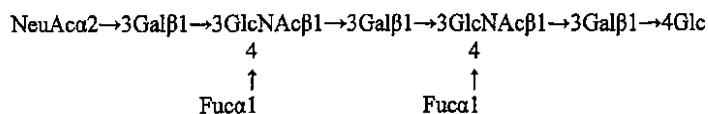


3Gal β 1 → 4Glc

を有する、請求項 1 に記載の単離された化合物であって、
ここで F u c は、フコースを表し、そして N e u A c は、N - アセチルノイラミン酸を表す、単離された化合物。

【請求項 6】 以下の式：

【化 6】



を有する单離された化合物であって、
ここで N e u A c が、N - アセチルノイラミン酸を表し、そして F u c がフコースを表す、
单離された化合物。